

認定看護師会からのお便り

2024年9月号



昨年度は認定看護師の活用方法と連携の実際を紹介させていただきました。今年度は、各認定分野の豆知識を紹介したいと思います。

今回は皮膚・排泄ケア認定看護師 中村 令子さんです。

1. 自己紹介

皮膚・排泄ケア認定看護師とは(WOCナース)とは、Wound＝創傷、Ostomy＝人工肛門・人工膀胱、Continence＝失禁ケアの分野を専門とする看護師で、皮膚や排泄ケアの知識や技術を用いて患者や家族の自己管理やセルフケアを支援し、患者が苦痛無く快適に過ごせるようにサポートしています。

この分野の仕事は様々な材料や物品(創傷被覆材やストーマ装具と付随する用品、テープ類、クッション等々)を使ってケアを提供することが多いです。材料や物品の特徴・性質を理解しそこにちょっとした発想力を加えて改善に繋げる。子供の頃から「何か作る」「(物を)工夫する」というようなことが好きだった私にはこの仕事合っているのかな？って思っています。

2. 豆知識

被膜剤(キャビロン非アルコール性被膜剤)を上手に使う！

日頃は被膜剤をテープ類の剥離刺激を低減するために使用されていると思います。

その他の使用方法として排泄物の付着を防ぐために使用することが有ります。

陰部洗浄後、肛門周囲及び排泄物の付着するところに噴霧すると、皮膚ができるので排泄物が皮膚に付着するのを防いでIAD(失禁関連皮膚炎)を予防します。

また仙骨や尾骨の褥瘡でガーゼのテープ固定をする前後で被膜剤を使うと、隙間に被膜剤が入り込み剥がれにくくなります。

いずれの使用時も洗浄後の乾いた皮膚に噴霧し、噴霧した後も空気浴して乾いたことを確認して終了することがポイントとなります。

こんな使い方もありますので参考にして下さい。



認定看護師会からのお便り

2024年9月号



昨年度は認定看護師の活用方法と連携の実際を紹介させていただきました。今年度は、各認定分野の豆知識を紹介したいと思います。

今回は**精神科認定看護師の関原亮平さん**です。

1. 自己紹介

2020年から精神科認定看護師として活動しています。精神科認定看護師は県内に17名登録しており、北信地域では私含め2名が登録しています。

現在の主な活動としては、リエゾンチームの一員としてせん妄や不眠、精神症状に対して病棟看護師と相談しながら支援をしています。また、認知症看護認定看護師と協働しながら認知症ケアに関わったり、がん領域の認定看護師と協働し対象患者のケアを行ったり、訪問看護師と協働し訪問にも行ったりしています。

さらに、医療従事者の精神的なフォローなども行っています。院外においては、様々な施設で従事している福祉関係者に対して精神科疾患についての勉強会や支援者支援などもしています。

2. 豆知識

・「聞く」と「聴く」

国語辞典で調べると、「聞く」は音や声を耳に感じ認める意、「聴く」は聞こえるものの内容を理解しようと思って進んでいく意、とされています。

医療現場では、「傾聴」という言葉がしばしば使われています。これも辞書で調べると、耳を傾けて一心にきくこと。熱心にきくこと。とされています。

傾聴は、相手のいうことを否定せず、耳も心も傾けて相手の話を聴くことであり、経産省からは職場や地域社会の中で多様な人々とともに仕事するうえで必要な能力として提言されています。

改めて「聴く」や「傾聴」ということを意識することで、新たな発見や看護の道が開けるのかもしれません。

